

令和5年9月

肥薩おれんじ鉄道株式会社の経営状況を  
説明する書類

熊 本 県

## 目 次

### 令和4年度決算に関する書類

- 1 事業報告 . . . . . 1
- 2 決算報告 . . . . . 5
  - ( 1 ) 損益計算書
  - ( 2 ) 貸借対照表 . . . . . 6

### 令和5年度事業計画に関する書類

- 1 事業計画 . . . . . 7
- 2 収支予算書 . . . . . 8

## 令和4年度決算に関する書類

## 1 事業報告

肥薩おれんじ鉄道株式会社は、これまで年間約100万人以上が利用し、地域住民にとって欠かせない交通機関である。安全運行の確保、サービスの向上を図るとともに、熊本・鹿児島両県や沿線自治体及びJR九州の支援を得ながら、安定的な運営が継続できるよう努めてきた。

しかし、開業2年目の平成17年度には減価償却前損益で赤字を計上し、以来厳しい経営状況が続いており、同社では、熊本・鹿児島両県及び沿線自治体と連携した利用促進や社員一丸となった営業活動等を行っている。

令和4年度は、平成3年度末に策定した中期経営計画（令和4年度から令和8年度まで）に基づき、企画列車の運行等による定期外利用の拡大、組織人事・マネジメント体制の変革、新たな駅収システムやデジタルサイネージ等の導入による業務効率化・デジタル化など、収益化に向けた意識改革と経営体制の再構築に取り組んできたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や大雨等による運休の影響もあり、輸送人員・運輸収入ともコロナ前（令和元年度）の水準には戻っていない。

令和4年度の営業収益は、旅客運輸収入が対前年度比49百万円増、旅行取扱収入が対前年度比30百万円増となったが、鉄道線路使用料収入が対前年度比176百万円減となり、全体では対前年度比84百万円減の1,536百万円となった。

一方、営業費用は、燃料・資材の価格高騰や法定検査の対象車両が多かったこと等により運転費、車両保存費が増加し、対前年度比327百万円増の2,497百万円となった。

以上により、経常損益は、対前年度比414百万円減となる949百万円の損失計上となったが、運行支援対策事業補助金やコロナ対策運行維持確保応援金等の特別利益1,304百万円を受け入れたことにより、当期純損益は299百万円の利益計上となった。

(参考)

(単位：千人、千円)

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
利用者数	1,881	1,771	1,688	1,690	1,631	1,563	1,512
営業収益	885,654	825,859	903,724	798,121	960,712	1,124,584	903,016
営業費用	960,592	958,488	1,153,010	977,978	1,177,006	1,319,667	1,281,620
営業損益	74,938	132,629	249,286	179,857	216,294	195,083	378,604
営業外損益	364	1,331	2,841	27,225	1,867	1,808	1,250
経常損益	74,574	131,298	246,445	152,632	214,427	193,275	377,354
当期損益	63,032	133,713	203,025	152,197	123,828	61,096	266,440
減価償却費	85,582	78,728	72,911	65,361	56,939	47,847	45,472
減価償却前営業損益	10,644	53,901	176,375	114,496	159,355	147,236	333,132

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
利用者数	1,450	1,367	1,390	1,304	1,243	1,184	1,171
営業収益	1,206,113	1,158,322	1,466,405	1,578,911	1,380,935	1,306,443	1,802,574
営業費用	1,438,457	1,427,598	1,804,571	2,124,917	1,981,864	1,839,834	2,300,856
営業損益	232,344	269,276	338,166	546,006	600,929	533,391	498,282
営業外損益	5,861	6,205	11,406	5,308	11,262	10,692	7,194
経常損益	226,483	263,071	326,760	540,698	612,192	544,083	491,088
当期損益	159,204	184,004	101,943	212,690	43,755	195,673	106,744
減価償却費	42,770	54,472	58,885	87,741	115,411	116,172	116,462
減価償却前営業損益	189,574	214,804	279,281	458,265	485,518	417,219	381,820

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
利用者数	1,153	1,076	804	939	975
営業収益	1,724,383	1,613,260	1,523,946	1,619,644	1,535,857
営業費用	2,406,159	2,308,454	2,209,882	2,169,537	2,496,912
営業損益	681,776	695,194	685,936	549,893	961,055
営業外損益	12,291	5,989	18,811	14,388	12,026
経常損益	669,485	689,205	667,126	535,505	949,029
当期損益	33,755	24,167	116,594	615,974	298,662
減価償却費	115,661	106,305	104,342	103,318	101,002
減価償却前営業損益	566,115	588,889	581,594	446,575	860,053

【会社の概要】

(令和5年7月1日現在)

1. 会社の名称等

- (1) 商号 肥薩おれんじ鉄道株式会社
- (2) 設立年月日 平成14年10月31日設立登記
- (3) 本店所在地 熊本県八代市萩原町1丁目1番1号
- (4) 開業 平成16年3月13日

2. 株式の状況

- (1) 発行する株式総数 31,200株
- (2) 発行済株式総数 31,200株
- (3) 資本の額 1,560,000千円
- (4) 株主数 10名

(5) 株主の状況

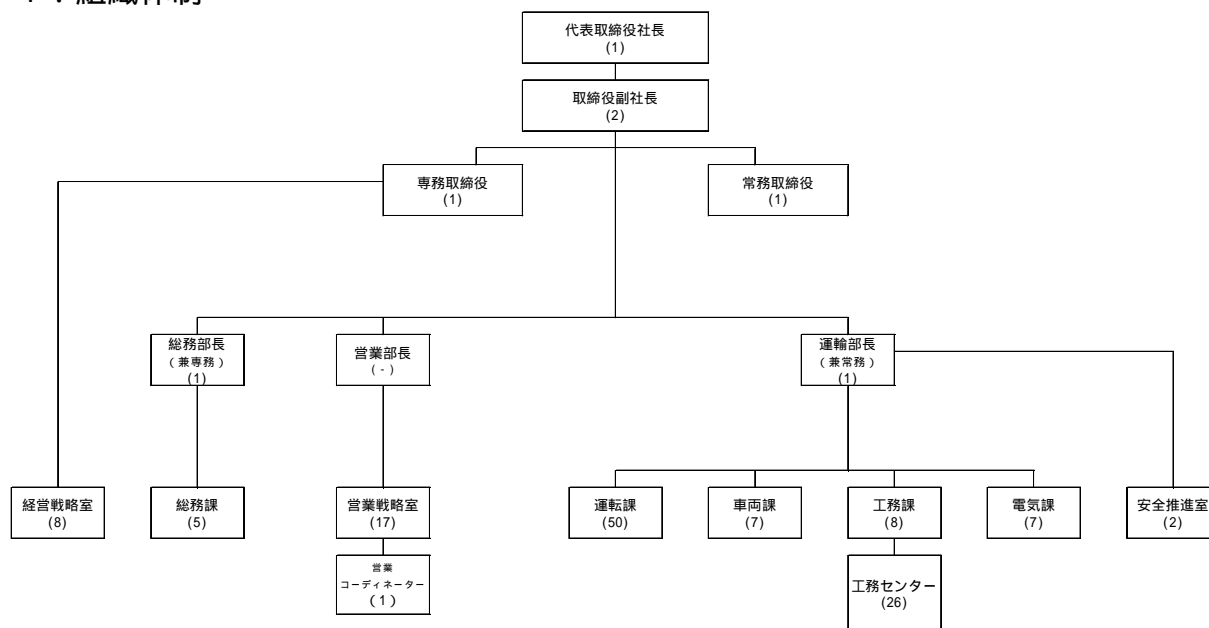
(単位：千円)

区分	出資者	出資額	区分	出資者	出資額
自治体	熊本県	620,500	民間企業・団体	日本貨物鉄道株式会社	100,000
	鹿児島県	620,500			
	熊本県八代市	60,750			
	鹿児島県薩摩川内市	50,800			
	鹿児島県出水市	40,500			
	熊本県水俣市	29,350			
	鹿児島県阿久根市	18,200			
	熊本県芦北町	13,250			
	熊本県津奈木町	6,150			
	小計	1,460,000		小計	100,000
合 計					1,560,000

### 3. 取締役及び監査役の氏名及び主な職業

職	氏名	主な職業
代表取締役社長	古森 美津代	
取締役副社長	阪本 清貴	熊本県企画振興部交通政策・統計局長
取締役副社長	西 正智	鹿児島県総合政策部地域政策総括監
専務取締役	村上 勲	
常務取締役	山内 敏浩	
取締役	中村 博生	八代市長
取締役	田中 良二	薩摩川内市長
取締役	高岡 利治	水俣市長
取締役	椎木 伸一	出水市長
取締役	但野 新二	日本貨物鉄道株式会社九州支社長
		(10名)
監査役	舟津 欣一	
監査役	西平 良将	阿久根市長
監査役	藤崎 正司	芦北町副町長
		(3名)

### 4. 組織体制



## 2 決算報告

### (1) 損益計算書

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日 (単位：円)

#### 【営業損益の部】

〔営業収益〕		
〔売上高〕		1,535,857,055
〔営業費用〕		
〔売上原価〕		
当期商品製品仕入高		2,433,688
旅行業収入原価等		32,075,822
運送営業費		1,919,245,314
売上総利益(損失)		417,897,769
〔販売費及び一般管理費等〕		
販売費及び一般管理費		382,837,558
諸税		59,317,273
減価償却費		101,002,181
営業利益(損失)		<u>961,054,781</u>

#### 【営業外損益の部】

〔営業外収益〕		
受取利息	5,772	
雑収入	15,350,056	
営業外収益合計		15,355,828
〔営業外費用〕		
支払利息	3,330,139	
営業外費用合計		3,330,139
経常利益(損失)		<u>949,029,092</u>
〔特別利益〕		
補助金収入	1,485,117,410	
寄付金収入	13,000	
特別利益合計		1,485,130,410
〔特別損失〕		
固定資産圧縮損	91,242,216	
特別修繕撤去費	81,601,850	
固定資産除却損	1	
補助金返還額	7,807,963	
特別損失合計		180,652,030
税引前当期純利益(損失)		<u>355,449,288</u>
法人税、住民税及び事業税		56,787,725
当期純利益(損失)		<u>298,661,563</u>



## ( 2 ) 貸借対照表

令和5年3月31日現在

( 単位：円 )

資産の部		負債の部	
<b>【流動資産】</b>	1,432,435,761	<b>【流動負債】</b>	1,490,615,236
現金及び預金	379,789,826	短期借入金	700,000,000
未収運賃	14,407,225	一年内返済予定長期借入金	35,761,000
未収金	882,004,106	未払金	569,290,472
未収消費税等	70,591,725	未払費用	2,131,153
貯蔵品	28,682,250	未払法人税等	11,266,400
未成工事支出金	22,468,550	預り連絡運賃	1,730,598
前払金	4,977,500	預り金	1,736,662
前払費用	28,460,245	前受金	141,934,505
その他	1,054,334	一年内返済予定長期預託金	12,392,423
		賞与引当金	14,372,023
<b>【固定資産】</b>	1,372,039,527	<b>【固定負債】</b>	133,399,910
鉄道事業固定資産	1,348,714,970	長期借入金	48,398,000
有形固定資産	1,341,306,090	建設協力長期預託金	80,915,810
無形固定資産	7,408,880	長期預り敷金	1,458,100
投資その他の資産	23,324,557	PCB 処理費用引当金	2,628,000
長期前払費用	9,768,557		
旅行業供託金	11,500,000	負債の部合計	1,624,015,146
差入保証金	2,056,000		
長期末収金	28,323,500	純資産の部	
貸倒引当金	28,323,500	<b>【株主資本】</b>	1,180,460,142
		資本金	1,560,000,000
		利益剰余金	379,539,858
		その他利益剰余	379,539,858
		繰越利益剰余	379,539,858
		純資産の部合計	1,180,460,142
資産の部合計	2,804,475,288	負債・純資産の部合計	2,804,475,288

## 令和5年度事業計画に関する書類

## 1 事業計画

### 事業方針

肥薩おれんじ鉄道の安定的な運行を確保するため、沿線地域の人口減少、高齢化及び南九州西回り自動車道整備等の社会情勢の変化や経営状況を踏まえ、“行動変革”と“新たな価値創造”を中期ビジョンとして、令和4年3月に「中期経営計画（令和4年度～令和8年度）」を策定した。

当計画の2年目となる令和5年度は、前年度に引き続き、肥薩おれんじ鉄道の経営体制を抜本的に見直すため、定期外利用の拡大や旅客サービスの見直しなどの重点施策に積極的に取り組むこととしている。

特に定期外利用の拡大については、国内旅行者だけでなく外国人旅行者の取り込みに力を入れ、増収増益を目指す。また、運賃改定に向けた検討の本格化や、安全運行確保のための施設・設備の整備、要員の確保・育成等についても計画的に実施する。

### 事業内容

#### （1）定期外利用の拡大

観光列車「おれんじ食堂」の企画運行やアニバーサリー事業、夏休みなどの連休期間に合わせたイベント等の実施により、定期外利用の増加を目指す。

また、台湾を中心とした海外営業を積極的に展開しつつ、外国人旅行者でも安心して乗車できるようパンフレットやサイン等の多言語化を図るとともに、SNSやデジタルサイネージ等で情報発信を行う。

#### （2）修繕計画の見直しと維持管理コストの抑制

構造物について、健全度判定に基づく優先順位を設定のうえ、年度間における経費が平準化されるよう計画的に修繕・更新を行う。

また、JR九州から引き継いだ過大な施設・設備の撤去やスリム化に取り組むとともに、遊休地等の賃貸を含めた有効活用を検討する。

#### （3）旅客サービスの見直し

利用実態調査や沿線住民アンケート調査の結果に基づき、利用状況に即したダイヤ改正を検討するとともに、運賃改定に向けた検討を本格化させる。

#### （4）業務効率化とデジタル化の推進

システム投資による業務効率化やサイネージのデジタル化を推進し、営業力の強化や新規事業開発などに注力するマンパワーを確保する。

## 2 収支予算書

### 損益計算書

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日 (単位：千円)

〔営業収益〕	
旅客運輸収入	405,000
鉄道線路使用料収入	1,020,000
その他収入	284,000
	計 1,709,000
〔営業費用〕	
人件費	537,000
車両保存費	244,000
線路保存費	425,000
電路保存費	619,000
その他費用	537,000
	計 2,362,000
減価償却費	110,000
営業利益(損失)	<u>763,000</u>
〔営業外損益〕	
	10,000
経常利益(損失)	<u>753,000</u>
〔特別損益〕	
	806,838
税引前当期純利益(損失)	<u>53,838</u>
法人税、住民税及び事業税	14,529
当期純利益(損失)	<u><u>39,309</u></u>